

平成30年度 第4回 川口市社会福祉審議会地域福祉専門分科会会議録

1 日 時 平成31年1月9日(水)
開会 午後2時00分
閉会 午後3時00分

2 会 場 本庁舎 2階第3会議室

3 出 席 者

(1) 委 員 (敬省略)

芝崎 正太, 大谷 富夫, 山喜 光明, 宗像 和子,
鈴木 真理子, 江川 肇, 小山 圭三, 須賀 幸太郎,
山崎 豊, 布施 晴美, 安藤 美子, 森下 芳樹

(3) 事 務 局 池田福祉部長 宮澤福祉総務課長
小林係長 野口主事

(株)日本能率協会総合研究所 田中主任研究員

(4) 傍 聴 者 1名

4 会議の概要

区 分	担 当	内 容
1 開 会	事 務 局	開会する旨挨拶する。
	専 門 分 科 会 長	開催する旨挨拶する。
	事 務 局	以降の議事進行を専門分科会長に依頼する。
議題1	専 門 分 科 会 長	以降、進行を務める。
	事 務 局	議題1について説明をする。
	専 門 分 科 会 長	各委員に意見や質問を求める。
	布 施 委 員	計画案において、産後の取組についての記載はあるが、産前の取組の記載はないので、産前産後両方の取組の記載をしたほうがよいのではないか。産前からのアプローチは虐待防止とも因果関係があるといわれている。
	事 務 局	子ども部等関係部局に産前の取組等があるか確認をしたい。
	小 山 委 員	行政機関だけでなく医療機関とも調整をしたうえで、計画に表現をしてもらいたい。

区 分	担 当	内 容
	専門分科会長	作業としては大変だとは思いますが医療機関だけでなく、看護師会、助産師会とも調整をしてもらいたい。
	副専門分科会長	地域によっては主任児童委員が出産についての相談を受けるなど産前のアプローチをしているところもある。
	山 崎 委 員	P5 5②移動・情報伝達手段のバリアフリー化の推進の地域の取組例の中で視覚障害者・聴覚障害者・音声機能または言語機能に障害のあるかたに配慮した情報伝達手段の確保（商店・企業）とあるが、地域の連携はもちろん必要であるが、行政の取組例がないのは何故なのか。 関連してP6 4本計画期間中に実施する取組の中で（4）地域の見守り活動の推進①地域ぐるみの防災・防犯の取組の中で福祉避難所についての記載があるが災害弱者に関する記載をもう少し入れたほうがよいのではないかと。
	事 務 局	この件については一度事務局で預かりのうえ確認をし、本計画に記載できるところは記載していきたい。
	専門分科会長	P5 1 あいサポート運動の推進はどう取り組んでいくつもりなのか。
	福 祉 部 長	今後はあいサポート運動を始めた鳥取県と川口市で協定を締結し、講習を実施のうえ市民から構成されるあいサポーターと呼ばれる支援者を増やしていく予定である。先々には企業単位で協力を求めていきたいと考えている。
	小 山 委 員	あいサポート運動の名称は鳥取県の名称をそのまま使用しているという認識でよいか。
	事 務 局	あいサポート運動の名称は鳥取県が商標登録しているのでそのまま使用している。
	森 下 委 員	民生・児童委員の活動は広範囲に渡るので民生・児童委員に関する記載を計画案の中でもう少し増やすことはできないのか
	福祉総務課長	民生・児童委員に関する記載についてはP6 4にあるように「民生・児童委員の定員充足率の向上」の項目で既に記載をしているので、この表現に止まることをご理解頂きたい。
	森 下 委 員	民生・児童委員を一般的に広く知ってもらいたい気持ちから発言をしたものである。
	福祉総務課長	貴重なご意見として今後の民生・児童委員の周知広報活動に役立てていきたい。
	副専門分科会長	情報提供になるが、民生児童委員協議会では今年度より市町村単位、都道府県単位など地域によって課題が異なることからその地域に応じた方策を策定していくという、地域版活動強化方策を打ち出しているところである。

